

講義名	経営学入門（1年生のみ）		
科目区分	専門基礎		
担当教員	上田 義朗		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

企業経営の知識や理論を自分自身に適用できれば、その人の人生は必ず成功するでしょう。これは、日本の有名な経営学者の言葉ですが、それに私も賛成です。自分の人生を自分で上手に経営する。このような観点から、経営学の基礎を学ぶことにしましょう。

使用する教科書は最も標準的な優れた内容ですが、2単位の講義では分量が多すぎるように思います。そこで、その中から重要な章を抜粋して、経営学の基礎的な知識や理論を理解し、その応用を考えることにします。

到達目標

本講義の受講生は、次のことが可能になるかもしれません。その目標達成は受講生の努力に依存します。

1. 経営学の基本的な用語を説明できるようになる。
2. 企業経営の考え方の基礎の「き」を理解して、経営的な発想ができるようになる。
3. 自分のバイト先の企業やお店の経営的な特徴を指摘できるようになる。
4. 将来の就職先の企業について少し考えることができるようになる。
5. 自分自身の人生をどのように経営すればよいか。自分が経営者の気分になれる。

提出課題

レポートを1～2回提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回の講義で前回の講義の復習事項について質問します。また講義中に何度か問題を出します。それらに回答すれば、得点を与えます。積極的な発言を歓迎します。

評価の基準

成績評価には次のような基準があります。

1. 期末試験の成績を評価の中心にします。
2. レポートの提出内容や発言点を期末試験の成績に加えます。
3. 成績最上位の受講生が90点以上になるように点数を調整します。
4. 期末試験の成績の偏差値が40点以上であれば原則として合格としています。

以上のような成績評価の原則で採点をしています。

なお発言点を重視します。私の質問に答えたり、私に質問したりすると名前・学籍番号の記入カードを渡します。それを講義終了時に提出してください。

履修にあたっての注意・助言他

出席は取りませんから、私語を我慢できない受講生は退席して下さい。ただし不定期にレポートを講義中に書いてもらいますから、それが出席の代わりになります。また発言点を重視します。

教科書	. 1からの経営学（第2版）	加護野忠男・吉村典久編	碩学社	2,592円

プリント資料及び参考文献

プリント資料は適時配布します。参考文献は教科書を参照して下さい。

なお、この教科書の「中古本」があります。また先輩から譲ってもらってもよいでしょう。

授業計画

1. 企業経営と経営学
2. 企業と社会
3. 企業と金融資本・労働市場との関わり
4. 企業と製品・サービス市場との関わり
5. 競争戦略のマネジメント（Part.1）：基本的な考え方（1）
6. 競争戦略のマネジメント（Part.1）：基本的な考え方（2）
7. 競争戦略のマネジメント（Part.2）：違いを作る3つの基本戦略と仕組みの競争（1）
8. 競争戦略のマネジメント（Part.2）：違いを作る3つの基本戦略と仕組みの競争（2）
9. 多角化戦略のマネジメント（1）
10. 多角化戦略のマネジメント（2）
11. 国際化のマネジメント（1）
12. 国際化のマネジメント（2）
13. マクロ組織のマネジメント
14. ミクロ組織のマネジメント
15. まとめ：前回の期末試験問題に基づいて講義全体を復習をします。

以上が教科書の前半部分です。後半の経営組織に関する重要な用語や概念についても講義中に指摘します。その内容も期末試験の範囲に含まれます。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習については、事前に読んでおくべき資料や教科書の部分を指示します。その内容について講義中に質問します。その回答者には「発言点」を加えます。

復習については、講義最初に前回の講義について質問します。その回答者について「発言点」を加えます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

発言した学生に学籍番号と氏名を書いてもらう

実務経験の有無及び活用

- 実務経験あり。
1. 株式投資ファンドの組成（岩井コスモ証券、販売終了）
 2. 海外進出のコンサルティング（現職：日本ベトナム経済交流センター副理事長）
 3. 複数業種の国際的なビジネスマッチング（現職：ネパールHRD I C社顧問、合同会社T E T）
- ・・・研究上の論理的な整合性と、実務上の非論理的で柔軟な現実の「乖離」について、その理由や背景についての私の経験と知見は、受講生の指導に活用できる。

備考

積極的な発言を歓迎します。そのような雰囲気になる講義をしたいと思います。

期末試験は、マークシート100問題の5択です。1問当たり平均36秒で回答します。この問題の最高点は、これまで70点台です。ぜひ、それ以上を目指してください。